

第 1 回 雲南市総合計画策定委員会 議事録

1. 開催概要

日 時 令和 5 年 5 月 28 日（日） 11：00～12：00

会 場 雲南市役所 3 階 3 0 1 会議室

参加者

【委員】

（順不同、敬称略）

区 分	氏 名	所 属 団 体 等	備 考
地域自主組織から推薦された者	加藤 一郎	大東町地域連絡協議会	
	広野 充明	加茂まちづくり協議会	欠席
	陶山 桂一	木次町地域連絡協議会	
	菅澤 邦次	三刀屋町地域連絡協議会	
	大家 崇	吉田町地域連絡協議会	
	和泉 拓哉	掛合町地域連絡会議	欠席
公募により選出する者	總山 萌	公募委員	
	森 浩子	公募委員	欠席
	藤原 美紗	公募委員	
その他市長が必要と認める者	小林 慎一	JA しまね雲南地区本部 営農企画課長	
	高橋 大輔	(株)出雲たかはし 代表取締役社長	
	松尾 まゆみ	雲南市観光協会 副会長	
	大森 伸一	雲南市立木次小学校 校長	
	藤原 ひろみ	雲南市社会福祉協議会	
	舟木 千恵	キラキラ雲南	欠席
	田中 学	合同会社 GIFT 代表	
	木村 和子	うんなんコミュニティ財団	欠席
	梶谷 知世	島根大学 大学生	
	田中 輝美	島根県立大学 地域政策学部 准教授	
	山元 圭太	雲南市地方創生アドバイザー	

【執行部・事務局】

所 属	職名	氏名	備考
雲南市	市 長	石飛 厚志	
政策企画部	部 長	板持 周治	
政策企画部 政策推進課	課 長	鳥谷 健二	
政策企画部 政策推進課	統括主幹	山本 亮	
政策企画部 政策推進課	主 幹	高木 作真	

【調査委託会社】

所 属	氏名
(株)エブリプラン	肥後、小田

2. 議事次第

- 1) 開会
- 2) 委嘱状の交付
- 3) 市長挨拶
- 4) 自己紹介
- 5) 委員長・副委員長の選出
- 6) 議事
 - ・第3次雲南市総合計画の策定方針
 - ・基本構想策定の流れ・スケジュール
 - ・総合計画策定委員会の開催予定（R5年度分）
 - ・キックオフフォーラムの開催
- 7) その他
- 8) 閉会

3. 配布資料

次第

第3次雲南市総合計画策定に向けた取り組み状況について【資料①】

第2次雲南市総合計画 後期基本計画（冊子）

4. 議事録

1) 開会

2) 委嘱状の交付

委員へ委嘱状を交付した。代表して加藤一郎委員へ、石飛市長から委嘱状が手渡された。

3) 市長挨拶

石飛市長より挨拶を行った。内容は以下の通り。

発言者	要旨
石飛市長	<p>策定委員をお引き受けいただき、感謝申し上げます。</p> <p>第3次雲南市総合計画は、令和7年度からの10年間の、まちづくりの方針を決める最上位の計画である。今回、若い方にも委員に参加いただき、多様な世代から幅広い意見をもらえるものと期待している。将来像について策定委員会、市民とのワークショップを重ね、取りまとめていきたいので、よろしく願いしたい。</p> <p>雲南市では、人口減少に歯止めをかけること、笑顔あふれる地域づくりを目指しているが、これからの10年は、団塊の世代が80代を迎え、人口減少の大きな10年となる。一朝一夕にできるものではないが、若い世代のUIターンを生み出し地域に活力を生み出すことが重要である。脱炭素に向けた社会システムの変革、ICTやDXにより、変化の大きな時代となる。新たな視点を加えたまちづくりを進めることが重要。</p> <p>そうした中で、市民との協働が何より重要。雲南市の市民力と、恵まれた地域資源を活かし持続可能な街づくりを進めていくかが問われる10年。</p> <p>委員の皆様にはこれからの雲南市の方向性について、積極的な意見をもらいたい。</p>

4) 自己紹介

各委員より、名簿に沿って自己紹介を行った。欠席された5名の委員については、事務局より名前と所属団体等を紹介した。

5) 委員長・副委員長の選出

事務局より、以下の2名を委員長・副委員長として選出することについて提案があり、委員より承認された。

【委員長】高橋大輔氏（株式会社出雲たかはし 代表取締役社長）

【副委員長】大家崇氏（吉田町地域連絡協議会）

発言者	要旨
事務局	これからの 10 年をつくる計画であり、若い世代に委員長、副委員長を担っていただきたい。事務局からの提案として、委員長として高橋大輔委員、副委員長として大家崇委員を選出したい。承認いただける方は拍手をお願いしたい。(全員、拍手)
高橋委員長	総合計画の話を受け、光栄に思う。色々なことを言いたいと思っていたが、図らずも委員長として意見をまとめる役になった。 10 年ビジョンを策定するにあたり、まずはわくわく、楽しさが一番重要。10 年後の自分や委員の皆さんが、10 年前に「よくこれだけのものを作っていた」と思えるものにしたい。 まずは毎月の委員会では、肩の力を抜いて、しっかり楽しんでやりたい。大家副委員長もいるので、問題ないと思っている。
大家副委員長	簡単に自己紹介をしたい。47 歳。木次乳業に勤め、営業の仕事をしている。人と話すことは比較的好きだが、地域や行政の計画については素人。一住民として、地域の方の話や自分の思いをどんどん発表できたらと思っている。 高 1、中 1、小 2 の 3 人の子どもがいる。中 1 の子どもが重度の自閉症であり、言葉が話せない、おむつが外れないと手がかかる。そういう人も含めて、雲南市に住み続けたいと思えるものを、政策に入れてほしい。楽しくやるのが好き。高橋委員長は、若い頃の飲み仲間でもあり、一緒にできることを楽しみにしている。

6) 議事

事務局より、第 3 次雲南市総合計画策定に向けた取り組み状況について、配布資料①に沿って説明を行い、了承を得た。主な質疑は以下の通り。

発言者	要旨
高橋委員長	策定委員会を通じて、まずは、どんな景色の山に登るかを決める。今の総合計画は、テキストが多く分かりにくいので、もう少し絵にしたい。
事務局	市民の皆さんに伝える視点を含めて、わかりやすいもの、シンプルなものを目指したい。
事務局	昨年度から、総合計画策定に向けて少しずつ動いていた。若い世代の意見を計画に多く反映させようと、若い世代が若い世代のところを回り、意見を集める活動をした。活動メンバーの一人であった総山さんから、印象的だった意見があれば共有願いたい。

<p>総山委員</p>	<p>昨年度、「雲南市に住んでどう?」「雲南市の好きなところは?」といった意見集めと、雲南市総合計画が始まるという周知を行い、機運を高める活動を行った。</p> <p>雲南が好きと答えた人が多く、「何もないけど、自然が好き」「新雪を踏むときの感覚が好き」と語ってくれた高校生もいた。自分自身は2年前に1ターンしたが、そういう若い子に入づくりに流れを紡いでいきたいと思った。どういう基本理念になるかは見えていないが、どの山に登ればわくわくできるかをみんなで決めていけたらよい。</p>
<p>大家副委員長</p>	<p>まず現状を知ることが大事。今雲南市がどういう状況か、自分の認識と実態がどれだけあっているか、ずれているか、知るのが、楽しみでもある。そこから目標を決めていくことが重要。</p> <p>10年後あるいはそれ以降、自分がどうありたいか、10年後に社会にでてくる子どもたちが、雲南市に帰ってくる選択をできるような将来像を描けると良い。</p>
<p>石飛市長</p>	<p>今いただいた意見は、今後のポイントになる。まちづくりをする上で、どんな人に住んでもらいたいのか? 便利さで他の地域と競合できるのか? 便利さ以外の何か、人生の価値観、考え方が大きなポイントになると感じている。子どもから高齢者まで、みんなの人生を考えなければならない。どういう価値を共有していくかが重要。</p> <p>策定委員会は、言いつ放しを許容する会であってもよい。自由闊達な議論ができる場となるよう、よろしく願いたい。</p>

7) その他

事務局より、委員報酬等の口座登録の手続きについて案内した。

8) 閉会

閉会にあたり委員長より挨拶を行った。内容は以下の通り。

<p>発言者</p>	<p>要旨</p>
<p>高橋委員長</p>	<p>総合計画が絵に描いた餅にならないよう、大きい餅を描きたい。そういう計画になるよう、みんなで楽しみながら作っていきたい。「豊かさ」の話があったが、何を以て豊かとするかがテーマになると思っている。</p> <p>昔は、ものにあふれた豊かさだったが、今は時間、ふれあい、人づくりの部分が重要。何を豊かさとして捉えるか、世代ごとのギャップも含めて、総合計画で表現できると良い。</p>

以上